



### MENU

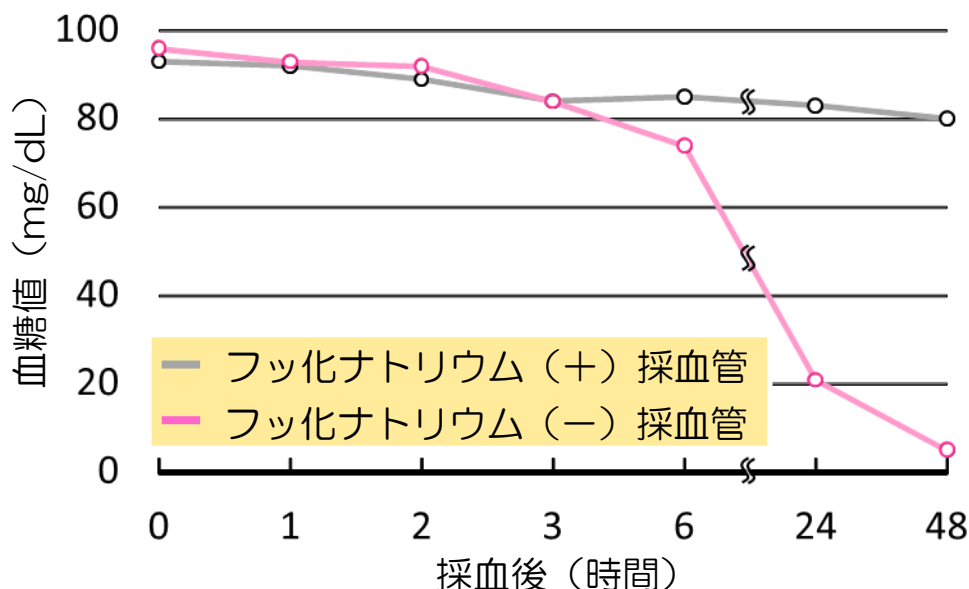
1. どうしてこの採血管じゃなきゃいけないの？ -血糖検査編-
2. 検体検査ってどうやってやるの？ -尿沈渣検査編-
3. カテーテル先端培養を正しくオーダーしてください
4. 臨床からよくある問い合わせ

## 1. どうしてこの採血管じゃなきゃいけないの？ -血糖検査編-

血糖検査は、フッ化ナトリウムとEDTAが入った専用採血管が用いられます。通常、採血管内の血糖は、血液中の細胞（赤血球、白血球や血小板）により消費されるため、採血直後より経時的に低下します。フッ化ナトリウムは、血糖の低下を阻止する作用があるため、安定的に血糖値を測定できます。



血糖専用採血管  
灰色キャップ  
(フッ化ナトリウムと  
EDTA含有)



\*フッ化ナトリウム (+) 採血管でも、採血直後から経時的に血糖値が低下します。

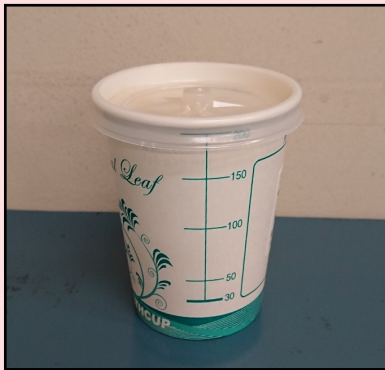
お問い合わせ：生化学検査室 内線36430

## 2. 検体検査ってどうやってやるの？ -尿沈渣検査編-

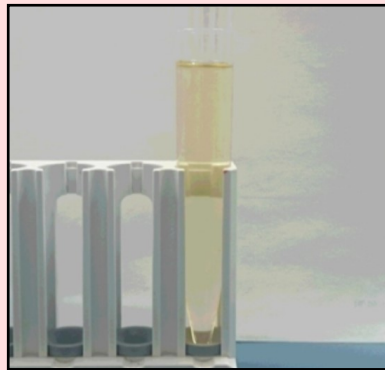
尿沈渣検査は、腎臓や尿路系の異常の有無をスクリーニングするために、尿中に含まれる細胞や結晶の形態、病原体の有無を調べる検査です。自動分析装置で測定する「FCM法」と、技師が顕微鏡で観察・分類する「鏡検法」があります。

### FCM法

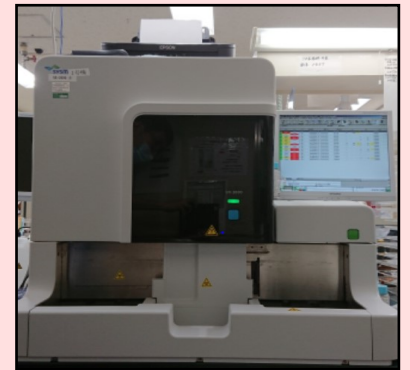
自動分析装置が、尿沈渣を分析して、速やかに報告します。



尿検体



スピッツに分注



自動分析装置

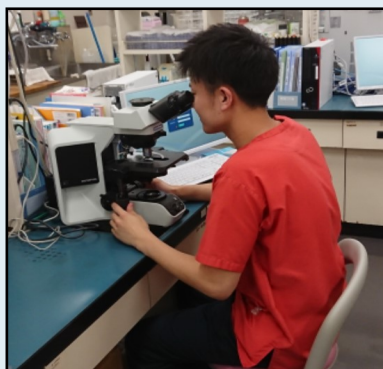
異常がみられた場合は顕微鏡で確認

### 鏡検法

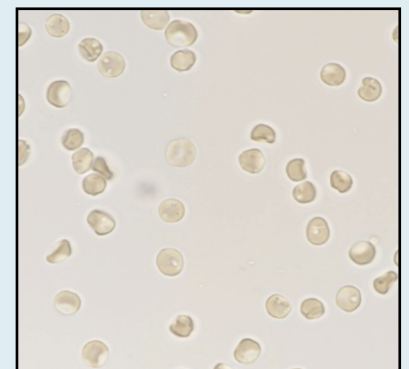
技師が、顕微鏡で尿沈渣を詳細に観察・分類し、報告します。



作製した尿沈渣



技師による観察



尿沈渣中の赤血球

お問い合わせ：尿検査室 内線36490

### 3. カテーテル先端培養を正しく オーダーしてください

カテーテル関連血流感染症の診断には、血管内留置カテーテル先端の培養による菌数の測定が有用です。血管内留置カテーテル以外の材料でオーダーした場合、菌数測定のための培養を行っていませんのでご注意ください。以下に、オーダー方法をお示し致します。

#### オーダー画面

材料選択

採取部位  
呼吸器系材料  
泌尿器・生殖器系材料  
消化器系材料  
**血液・穿刺液**  
その他の材料

材料  
動脈血  
静脈血  
髄液  
胸水  
腹水  
関節液  
心嚢液  
穿刺液  
**血管内留置カテーテル先端**  
その他カテーテル  
透析液  
その他

詳細部位情報  
末梢血1:右 末梢血2:左  
右  
左  
上  
下  
関節滑膜

検査項目

検査目的  
起炎菌の検索  
感染症の経過観察  
監視培養  
入院時スクリーニング  
糸状菌  
STD(淋菌)  
周産期  
深在性真菌症のスクリーニング  
術前検査  
術後検査

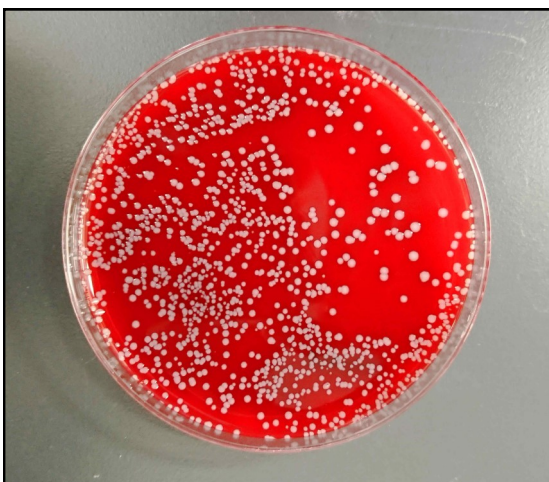
検査項目セット

※カテ逆血:カテ感染の診断時のみ利用可  
検査項目セットと検査項目は同時に選択は行えません。

フリーコメント (25文字まで)

確定 閉じる

採取部位：血液・穿刺液  
材料：血管内留置カテーテル  
を選択し、オーダーして下さい。



1,000個/mL以上の菌が検出された場合、  
カテーテル関連血流感染症を疑います。

CUMITECH 血液培養検査ガイドライン

お問い合わせ：細菌検査室 内線36450

## 4. 臨床からよくある問い合わせ

今回は血清検査係によくある質問をピックアップしました。解決できなかった方は「内線36460」までお問い合わせ下さい。

**Q** 他の検査で残った血液を使って、HBV、HCVやHIVの核酸定量検査を追加できますか？

**A** 他の検査で使用した検体は、コンタミネーションの可能性があります。そのため、別途採血が必要となります。

**Q** 可溶性インターロイキン2受容体 (IL2-R) のオーダー方法は？

**A** オーダリング画面の「通常検査」⇒「血液」⇒「細胞性免疫」にあります。また、診療前検査にも対応しています。

**Q** HBs抗原の測定原理を教えてください。

**A** 通常検査はCLEIA法、緊急検査はCLIA法です。



**Q** 鶯色採血管の検体を使って、青色採血管の追加オーダーはできますか？

**A** 鶯色採血管は血漿、青色採血管は血清です。検査は血漿あるいは血清しか測定できないものと、両者測定可能なものに大別されます。検査項目により検体の種類が異なるため、ご連絡下さい。



**Q** 休日に薬物血中濃度の測定をお願いできますか？

**A** 可能な限り対応しています。事前にご連絡下さい。

**Q** 血液ではない検体の血清検査は可能ですか？

**A** 参考値となりますが、可能な限り対応しています。測定値が得られない場合もありますのでご留意下さい。



お問い合わせ：血清検査室 内線36460

広報委員：古谷大輔、盛合亮介、米澤 仁、蕓澤慎也、小林 亮、田本悠佳